

萩市立川上中学校で「森林体験学習」を実施

令和5年11月14日（火）と11月21日（火）の2日間にわたり、萩市立川上中学校1年生4名を対象に、地元林業研究グループ「川上スギの木会」が森林体験学習を行いました。

この活動は、次代の担い手である中学生を対象に、森林の働きや林業の必要性などについて、体験を通して理解を深めてもらうために行われました。

11月14日（火）は、阿武萩森林組合川上支所で、会員が森林の働きや川上の森林の特徴、林業の仕事について説明しました。生徒たちは、下刈りや枝打ち等の林業の仕事の目的や「川上ではスギとヒノキのどちらを多く植林しているのか」など質問し、林業について学びました。

11月21日（火）は、萩市川上の森林で枝打ちを実際に体験しました。まず、会員に枝打ちの手本を見せてもらい、会員に指導を受けながら木に登って枝打ちを行いました。最初は、はしごを登るのもおっかなびっくりの様子でしたが、次第に作業に慣れ、時間ぎりぎりまで夢中で枝打ち作業に取り組みました。

今回の森林体験学習を通じて、身近な森林・林業に興味を持ってもらえることを期待しています。



森林の話



枝打ち体験